

For Adult Only

あ
の
目
の
お
礼
が
し
た
く
て



あの日の

お礼がしたくて



あの日

お礼がしたくて



今日はここで野宿しよう

よし



ファイガロ城の主、エドガーと合流し、リターナー本拠地に向かうため一行はコルツ山を目指していた



ハッ
ハッ
ハッ
ハッ



ロック...

ん？
どうしたティナ寝付けないのか？



うん...

なんだか眠れなくて...



どうぞ

ありがとう

座って...
となり...
いいかな？



そ...
それでね...

も...
し...



ロックに...
お礼がしたくて

す...



でも...おかげで私は
帝国の支配から
解放された
ロックには本当に
感謝してるの
ありがとう

任憑だった
けどね

私のこと...
助けて...
くれたでしょう?

ナルシエで...
ん?

あ...ああ



私を...

どきどき

.....
っ!!?

抱いてください♡



私にできること...

これしか
ないから...♡



ちよつ...
な何言つて...!?

大丈夫だよ♡
エドガーなら
寝てるし...



わっ!!

これが...

ロックの...!

ティツ

ティナ...っ!?

たしか...

こうするん
だったはず

わっ

は



気持ちはいいよ

きもちいい...?

よかった♡



一気に
吸い上げるっ

うああっ!



おちんちんを
喉奥まで入れて

ううっ...



まずいつてっ！
そこに…
エドガーが
いるのにつ…！



ティ…
ティナッ



…って
聞いてないし…

これが…
本物のおちんちん
なんだ…♡

ちゅっ…
ちゅーっ…



あのとき
みたいに♡



んんん…



舐めてるよ



頭がポーンとして
へんになる♡



私ね...

この日のために
いろいろ勉強
したんだよ?

はち...
ちほっ
びん

これで...
こんなのは

ぎゅっ♡

わたし...
おっぱい...
小さいっ♡

どう...かな?



ちやんとできるか
わからないけどっ
がんばるねっ♡

わたし...
おっぱい...
小さいっ♡



そうか
ティナの気持ちは
よくわかった

どうなっても
知らないからな

もう

ハハッ

キヤッ!!



キヤツ!?



このへんで
いいだろ

どこまで…
行くの?

ねえ…



あ…

ティナから
誘ってきたん
だからな
俺はどうなっても
知らないよ?

さて

ティナはどこが
弱いのかなー?



あぁッ♡♡



さつき
の続きを
しようか

さめ

…っ!
!?

な…
なんか…

雰囲気…
変わった…!
!?



じゃあ一体
どこでエッチの
勉強したのかなー？



エドガーがその…
ファイガロ城で
女性としてのを…

見てて…っ



あれー？
随分感じてる
ようだけど
もしかして処女じゃ
ないんじゃないの？

わっ♡
わかんないっ♡

ふーん

過去のことは
思い出せないからっ♡
わかんない…っ♡



あ…♡

あ…♡
キモチの♡



まったく…
他人のセックスを
覗き見るなんて

エドガー
あの野郎…



悪い子だっ

ちゅっ…

んっ!!



んー？

そんなこと
言いながらさあ



悪い子には
おしおきが
必要な



そ...それ...
ダメっっ



ティナの
ここはもう
トロットロ
だけど？

気持ち
いいんでしょ？



セックス♡

バレちゃってる
よおお♡♡



してみたかった
からでしょ？

本当は
俺を誘ったのも



ほら
自分に素直に
なっちゃいなよ

ほらほら
素直に
なっちゃいなよ

もうイキそう
なんでしょ？

いつちやえ
いつちやえ♡♡

あ♡♡

ズ
ズ
ズ
ズ

ななな

♡♡♡

はあ
あ♡♡♡

あーあ

盛大に潮
吹いちやって

そんなに気持ち
よかった？

な

で…

俺の方はまだ
満足して
ないんだけど？

な…に…
これえ…♡

♡♡♡

いっ





こ…

こ…
この格好…っ

これで
いいの…？

そう

そう♪

かあおせ…

すっごく
恥ずかしいっ…

ああッ

ティナ
挿れるよ

あ…

どきっ

は…っ♡

はいって…
きたああああ♡

ああ…♡

挿入…

ああ…♡



そんなに
気持ちいいの？

はあ

ひやうつ



うんっ♡
きもちいいっ♡

はあ♡♡



あー♡

は、♡

ズー

さっきから
随分よがってる
けどさあ

はあ♡♡



どこが一番
気持ちいいの？
俺に教えてよ

お♡♡
みんなの♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡



はあ♡♡

はあ♡

んー

はあ♡♡

ティナが
可愛いからつい
昔めたくなっちゃうよ

こんなのは…
どう？

こんなの♡
しらないっ♡
♡

しっかり
掴まってろよ

ロツ
クツ？！

ちゃんとして
掴まないと
落ちちゃうぜ？

んあっ！？

なっ♡
あゝ♡

キャッ！

あゝ♡

あたま
白くなるっ♡

もう何も
考えられないっ♡

えっ！？

おあゝ♡

あゝ♡

ザッ♡

ほっ♡

はっ♡

あゝ♡





だーめ♥
許してあげない♥

もっとティナが
感じまくってエッチなとこ
見せてくれたら
許してあげる♥

ニヤニヤ

そっ♥
そんなっ♥



こっ♥
こんなの♥

ほら
ほら



ムリいいいい
いいいいいい

んあぁあ♥♥
んは♥

イキそう
なんでしょ?

ティナの
イキ顔
みせてっ

ほら





イクッ♡♡

おおっ♡♡
イクッ♡♡



テイナ
ありがとな





すいぶん
ご機嫌
みたいけど...

なあ...
ティナは
一体
どうしたんだ?

ああ...

もうっ!



わっ!!

二人ともっ!

がしっ



私たちの
旅は

...っ!!

何話してるの?
早く行こっ!

まだ始まった
ばかりなんだから!

たっ



ほら
ほらっ

ふたりとも
早くっ!!

たっ

あの日

お礼がしたくて

はじめましての方もそうでない方もこんにちわ！ぼやむです
今回の本はいかがだったでしょうか？個人的には難産に次ぐ難産な作品でしたよorz
毎度ながら直ちに直しまくってなんかもう、なんでこんなに大変なのか私にも
よくわからなくなってきました。最後はヒーヒー言いながら作業してました
次こそもっと気楽に本作りたいです…

…と、ここまでがいつものテンプレ的挨拶ですねw（毎度こんな感じです
えー、FF6はですね、私が初めてプレイしたRPGでして、幼馴染がプレイ
してるのをたまたま見てそこがちょうどティナがアルテマウェポンを
敵に振りかざしてるところで
で、「なんて可愛い女の子が戦ってるの！」と思ったのがはじまりですw

とにかく好きすぎて何周もプレイしたよね。初プレイでソソの街で飛び移って
移動するのがわからなくて、クラスの男子に聞きまくったのもいい思い出w

ちなみに読んで頂いておわかりかと思いますが、私はロクティ派です（トッ
セリス？ああそんな人もいたかもねー、くらいのロクティ派ですw

パーティもロックとティナは一緒にして行動させたりいろいろしてましたねw
懐かしい
二人で三角島に行くイベントがものすごい好きで、あらぬ妄想をしたりしましたねw
本当に本当にちょっとしたイベントなんですけども（泣
ロックとティナ二人だけで行動できるなんて！！と大歓喜してましたw

今回いろんな成り行きで本を出すことになりました
思い出深い作品の本を出せて幸せでございました(ノ´∀`*)

次の本はオリジナルです。というか、基本はオリジナルで活動してます
読んだことない方、そちらもどうぞよろしくお願ひします（宣伝

それでは、ありがとうございました★

ではでは

発行日:2017.8.13

発行人:BLUME ぼやむ

印刷:プリントマウス様

HP:<http://poyamu.blog97.fc2.com/>
mail:poyamu-blume@tbc.t-com.ne.jp
twitter:poyamu

★禁止事項★

- ・ネットへの作品のアップロード
- ・無断転載・無断複製
- ・未成年の閲覧



BLUME poyamu presents
FF6 fan book LockxTina
2017 summer for Adult Only